

はな みず き
花水木

令和5年度は、新型コロナウイルス感染防止対策と緑化振興事業の両立を図る“ウィズコロナ”として事業を開催し、多くの市民の皆さまにご参加いただきました。

新年度も引き続き、市民の皆さまが花や緑について学び、楽しんでいただける事業の開催に努めてまいります。

花めぐり見学会を開催します！

令和5年度は、6月・7月に花めぐり見学会（オープンガーデンバスツアー）を開催しました。新年度も、財団に登録されている個人庭園（オープンガーデン）や花いっぱいコンクールの参加花壇等をバスでめぐる花めぐり見学会を開催しますので、ご参加お待ちしております。



- 花と緑のフェスタ 2
- メモリアルツリー 2
- ちとせオープンガーデン 3
- 花めぐり見学会 3
- 園芸教室・講習会
花と緑の講演会 4
- 自然とのふれあい教室 4
- 花いっぱいコンクール 5
- 花と緑の写真コンテスト 6
- 花と緑の絵コンクール 7
- 都市緑化振興事業の紹介 8
- 水と緑のふれあい基金 8

写真：令和5年度花めぐり見学会（赤石邸にて）



花と緑のフェスタを

開催しました！

花と緑のフェスタは、市民の皆さまと緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進する都市緑化振興事業の一大イベントで「花マルシェ」「野菜マルシェ」「食マルシェ」などを開催しています。

令和5年度は、5月19日から21日までの3日間、グリーンベルト「幸町おまつり広場・千代田町つどの広場」で「第56回花と緑のフェスタ」を開催し、期間中合計7,474人のご来場をいただきました。

初日は、アリス認定こども園の園児が元気いっぱいにと太鼓を演奏し、オープニングを飾りました。

期間中は各種マルシェに合計19店舗が出店し、色鮮やかな花苗や新鮮な野菜、キッチンカーの食べ物を求める市民で賑わいました。

会場ステージでは市長を招いてのメモリアルツリー贈呈式、キッズダンス等の発表、4年ぶりとなる公開園芸講座を開催しました。

会場では花苗プレゼント、花苗等の購入割引券配布を行い、長い行列ができました。千歳ならではのモチーフで作成したスタンプを探し会場をめぐるスタンプラリー、そのまま土に植えられるポットにひまわりの種を植えるワークショップは大人も子どもも楽しみました。最終日は、残念ながら降雨のため公開園芸講座、ステージ発表は中止となりましたが、気温も低く雨風が強い中、大勢の方が花苗プレゼントやスタンプラリーを楽しまれていました。

▼第57回 花と緑のフェスタを開催します！

令和6年度の花と緑のフェスタは5月17日（金）から19日（日）まで同会場で開催します。

期間中は、花苗プレゼント、花苗等の購入割引券配布、メモリアルツリー贈呈式等のイベントを予定して



います。また、花苗や野菜苗等を安価に販売する「花マルシェ」千歳産の新鮮な野菜を販売する「野菜マルシェ」キッチンカーや屋台等がならぶ「食マルシェ」を行う予定です。

千歳市の春を迎えるイベントのひとつとして、皆さまのご来場をお待ちしております。



スタンプのモチーフ



【アリス認定こども園】



【公開園芸講座】



【植えワークショップ】



【Glitter☆Dance Entertainment】



【千歳JAZZ倶楽部】



【スタンプラリー】

メモリアルツリープレゼント

財団では、出生・入学・結婚・自宅購入・還暦の慶事を迎えた千歳市民の皆さまに記念樹を贈呈しています。令和5年度は、人生の節目となる慶事を迎えた154名に贈呈しました。



【メモリアルツリー贈呈式】

メモリアルツリーは、9種類の樹種からお選びいただけます。令和4年度から「樹」ではありませんが「ハナショウブ」もメモリアルプランツとしてプレゼント樹種の仲間入りをしました。

ハナショウブは千歳市の花として昭和61年に制定されています。千歳市の風土に適した植物なので、小さなお庭でもすくすく育ちます。

メモリアルツリープレゼントの詳細は、財団ホームページや広報ちとせ4月号等でお知らせします。



ちとせオープンガーデン

平成30年度（2018年）から個人庭園のオーナーのご協力により、丹精込めたお庭を市民の皆さまに公開していただき、人と人との交流を通して「花と緑のある美しい街づくり」をすすめています。



住吉地区 黒瀬 久美子 さん

私のお庭は、20年ほど前に家を建て直したことがきっかけで和風から今の洋風のお庭にイメージチェンジを始めました。モミジや松をライラックやスモークツリーに植え替え、自己流ではありますが、少しずつ石を敷き、枕木を設置し、庭づくりをしてきました。葉がきれいなものが好きで、色々な種類のギボウシを植栽しています。花がない季節も、黄色や斑入りのギボウシがあるとお庭が明るくなり嬉しくなります。

クレマチスやツル性のバラをアーチや壁に誘引し、お庭が立体的に見えるように工夫しています。グラウンドカバーのタイムやリシマキアと、雑草を見分け除草するのに苦労していますが、カラーリーフの中に季節ごとの華やかな花が咲いてくれることが楽しく、やりがいを感じています。

ちとせオープンガーデン Guide Book 2023



財団に登録している市内の庭園（オープンガーデン）の公開日や地図などを掲載したガイドブックを無料で配布しています。



※公開日は庭園により異なります。

動画は「YouTube」で「ちとせ環境と緑の財団」を検索

令和5年度は1名の庭主さんが新規に公開してくださいました。

弥生地区 上田邸 ～季節の移ろいを感じる庭～

バラは四季咲きを多く、宿根草、山野草、一年草との彩りにガーデンオブジェ、フォーカルポイントを取り入れ楽しんでます。お花、木々を通し愛でる気持ちと情報を共有し、楽しく笑顔でふれあい幸せな気持ちになります。



ちとせオープンガーデン／花めぐり見学会

花めぐり見学会（ガーデンバスツアー）

市内の素敵なオープンガーデン 訪ねてみませんか？

参加費無料・千歳市民・要予約

6月から7月に、財団に登録されている個人庭園（オープンガーデン）や花いっぱいコンクールの参加花壇等をバスでめぐり花めぐり見学会を開催します。

ぜひご家族・ご友人を誘ってご参加ください。



園芸教室・講習会

寄せ植えやプリザーブドフラワー、生の植物を使ったリース作りなどを通して、技術や管理などを学ぶ「園芸教室」、「花と野菜の学校」、「講習会」を毎年実施し、たくさんの皆さまの参加をいただいています。

令和6年度も魅力的で内容の充実した事業を計画して、ご参加をお待ちしております。親子での参加も大歓迎です！

ストロベリーとハーブの寄せ植えを楽しもう



＜6月3日＞
ワイルドストロベリーと、ちょっと苦いイタリアンパセリ、紫の花がかわいいチャイブを使って食べられる寄せ植えを作りました。

親子でハロウィン工作 かぼちゃのランタンを作ろう！



＜10月15日＞
千歳産のかぼちゃに思い思いの顔を描き、くり抜いて、親子で楽しくLEDで光るジャック・オー・ランタンを作りました。

室内で楽しむ和モダンのミニ盆栽



＜12月9日＞
育てやすく可愛い花が咲くハクチョウゲを手のひらサイズのミニ盆栽に仕立てました。

初夏のガーデニング講習会 ～楽しく始めるガーデニング 素敵に見せるコツ！～



＜6月15日＞
コテージ・ガーデンの三石浩司氏を講師としてお迎えし、ガーデニングの基礎や、植栽管理のコツを学びました。

観葉植物を使って寄せ植えをつくりましょう



＜11月11日＞
赤色の苞が鮮やかなアンズリウムや立体感のあるつる植物のアイビーなどの観葉植物を使っておとなっぽい雰囲気寄せ植えを作りました。

春を呼ぶ花束を作る ～ミモザとユーカリのスワッグ～



＜1月20日＞
黄色い花がふわふわなミモザと、さわやかな香りのユーカリを使って、春が待ち遠しくなるスワッグを作りました。

花と緑の講演会

黒田 正子さん講演会

「ハーブを使ってリフレッシュ ～春に向けて今から楽しいガーデニング～」



当財団では「身近な花や緑への関心を高め、住宅地の緑化を図る」ことを目的として、花と緑の講演会を開催しています。
令和5年2月18日に北ガス文化ホールで、講師に北海道グリーンコーディネーターである、黒田ハーブ農園*北海道株式会社代表取締役黒田正子氏を迎え、48名の市民の皆さんを前に講演いただきました。
北海道旭川市出身の黒田正子氏は、ハーブを使った暮らしに刺激を受け、

ハーブの歴史やガーデニングの研究を行い、現在は黒田ハーブ農園北海道株式会社を北広島市仁別に経営しています。
講演では、ハーブを芝生のようにつくり育てる方法や、ハーブに適した土づくりや育て方などについて、ゆったりとした口調で分かりやすく語り、暮らしの中にハーブを取り入れる黒田流の活用方法やハーブの調理方法も取り上げました。参加者からは「大変勉強になりました」「黒田先生のお話に癒されました」「今日のお話を実践してみたい」等の感想が寄せられました。



自然とのふれあい教室

巨木をめぐるウォークラリー

青葉公園の園路沿いにある推定樹齢200年を超えるノリニシ、コナラ、ミスナラ、カツラの巨木15本を自由にめぐります。
巨木には、樹種や樹齢が分かる「樹木プレート」を設置しており、そこに書かれているひらがなのキーワードを解答题用紙に5個以上記入、財団事務所に提出すると、参加賞がもらえます。



青葉公園自然観察・体験会

青葉公園には、約360種類以上の草花や樹木が生息しているといわれています。青葉公園自然観察・体験会では、専門家の講師と、公園内の草花の名称や植生などについて学びます。
また、青葉公園の貴重な自然の大切さについて、自然観察・体験会を通し知識を深めます。



花いっぱいコンクール

花と緑があふれるまちづくりの推進と緑化意識の高揚を図るため、市内の町内会、学校、福祉施設、事業所などの参加団体を募集して花苗を無償で配布し、審査により優秀な花壇を表彰しています。

令和5年度は190団体が参加し、各部門の最優秀賞・名誉花壇の受賞団体等は次のとおりです。（敬称略、各賞は順不同）

最優秀賞・名誉花壇



【花壇部門 町内会の部】
あけぼの団地町内会

【講評】町内会全員で参加を心掛けている花壇は、配色のバランスが良く、一つひとつの花がとても大きく育っています。人を惹きつける力があり、町内会花壇の見本となるような花壇です。



【花壇部門 幼稚園等の部】
あんじゅ認定こども園

【講評】駐車場から玄関前までの空間に設置された花壇は優しい色合いで植栽され、丁寧に管理されています。登園する子どもたちや来園者の心を和ませるような花壇となっています。



【花壇部門 小学校の部】
北進小中学校

【講評】開校53周年の花文字がくっきりと浮かびあがった花壇は印象的です。趣の異なるカラフルな児童玄関横の花壇も手入れがよく行き届き、大きく明るく咲いて来校者を迎えています。



【花壇部門 中学校等の部】
北海少年院

【講評】命と心をテーマとした花壇は、花や蝶などをモチーフとして構成され、表現する工夫が感じられます。院生と職員が協力して維持管理を行い将来に向けた夢や希望を感じる花壇です。



【花壇部門 福祉施設の部】
グループホームひまわりの家

【講評】50個以上の寄せ植えは丁寧に管理され、玄関前を鮮やかに彩っています。施設に通う車いすの方も屈むことが難しい方も、花に触れたり世話ができるように立体的に配置されています。



【フラワーロード部門】
あずさ町内会 名誉花壇
令和5年度認定

【講評】あずさ地区の防風林沿い500m以上にわたり2色のペゴニアが植栽されています。車で通過する時や遠くから眺めた時に見渡すほどの直線上に花が並んでいる風景は壮観です。



【ガーデン部門】
勇舞川を守る会 名誉花壇
令和4年度認定

名誉花壇とは？

花いっぱいコンクールの各部門・各部で、連続3回または通算3回「最優秀賞」を受賞した団体を認定しています。認定期間（3年間）は、コンクールに「モデル花壇」として参加し、広報誌等で市民の皆さまに広くご紹介をさせていただきます。

【あずさ町内会 環境部長 村山さんより】

何年もペゴニアを植えていて、この場所はペゴニアが適していると実感しています。
植栽場所が直線で距離があるので、草取りなどのお手入れが大変でしたが最優秀賞を受賞し、今まで大変だったお手入れが実を結んだと嬉しく思いました。
来年度もお手入れを欠かさず壮観なフラワーロードを維持したいです。



8月26日に、千歳市総合福祉センターにおいて「第36回花いっぱいコンクール」の表彰式を行いました。

フラワーロード部門のあずさ町内会が、本年度で通算3回目の最優秀賞となり、令和5年から令和7年までの3年間、花いっぱいコンクールのモデル花壇として活動していただく「名誉花壇」に認定されました。財団からは「名誉花壇認定証」と「認定プレート」を贈呈しました。



※ 毎年4月上旬に参加団体を募集していますので、興味のある方や参加を希望される方はご連絡ください。

花と緑の写真コンテスト

緑化意識の高揚と啓発を図るため、市民や市内に通勤・通学している方を対象に市内の花のある風景や、身近な花と緑に親しむ様子や関わる人々の様子などを題材とした写真を募集し、優秀な作品を表彰しています。

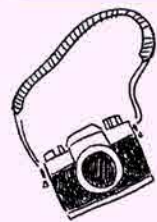
令和5年度は64作品の応募があり、各部門のグランプリ・金賞・銀賞・銅賞の作品は次のとおりです。（各賞は順不同）

一般部門



グランプリ
「広場の主（あるじ）」
白木 諭 さん

【講評】波のない水面に満開の桜が映った一瞬を切り取っています。ピンクの桜、緑の芝生、空と水の青の構図が素晴らしく、現実と水鏡を幻想的に捉えた、感動を与えてくれる作品です。



今まで他の賞はいただいたこともありましたが、グランプリは初めてで大変嬉しいです。写真を撮ることは楽しく、今度は何を撮ろうかと常に考えています。



金賞
「菜の花畑」
高西 宏和 さん

【講評】構図をイメージしながら、戦車が来るのを待ち構え、シャッターチャンスを見逃さず撮影しています。穏やかな菜の花畑から現れる戦車をバランス良くおさめた、千歳ならではの作品です。



金賞
「勇舞の森へマイ・トライ」
久保田 守 さん

【講評】高い視点から遠近感や色の対比を表現し、考え抜かれた構図の美しさを凝縮した1枚です。青空のもと風で泳ぐこいのぼりの躍動感、子どもたちのいきいきとした雰囲気伝わってくる作品です。



銀賞
「花咲く頃に」
佐々木 保彦 さん



銀賞
「散歩道」
吉村 剛 さん



銀賞
「花に癒されて」
吉田 憲作 さん



銅賞
「ちょっと一休み」
坂本 栄造 さん



銅賞
「無題」
伊藤 友香 さん

スナップ部門



グランプリ
「夏の日」
木村 真紀 さん

まだカメラ歴は浅いですが、気持ちの動いたときに撮影をしています。父の形見のカメラで撮影した作品なので、とても嬉しいし、父も喜んでくれていると思います。

【講評】下の方に小さく配置したベンチに座る人物が、樹々の大きさを際立たせています。緑の光と影のコントラストは、森の中にいるような、ゆったりとした雰囲気を感じさせる作品です。



金賞
「ひまわり迷子」濱田 香織 さん

【講評】ビタミンカラーのひまわりと青空と子どもたちが、鮮やかにバランスよく撮影されています。子どもたちの視線の先にはひまわり迷路がどこまでも広がっているように想像できる作品です。



第18回 花と緑の写真コンテスト表彰式
令和5年12月2日



銀賞
「彩りの集い」
高澤 菜那 さん



銀賞
「メルヘンの世界(?)」
吉岡 美佐子 さん



銅賞
「ひまわりだらけ」
箕浦 俊江 さん



銅賞
「千歳神社 花手水」
内久保 麻美子 さん



銅賞
「森のアーケード」
竹中 里衣 さん

花と緑の絵コンクール

次代を担う子どもたちに花と緑に興味を持ち理解を深めていただくため、市内の小学4年生から6年生までを対象に、花と緑と水を題材とした写生画を募集し、優秀な作品を表彰しています。

令和5年度は10校から359作品の応募があり、金賞・銀賞・銅賞の受賞者は次のとおりです。（各賞は順不同）

金賞



「緑小の花」

緑小 横山 ぼたん さん

【講評】画面いっぱいには花々を描いて、きれいに咲いた喜びを表現しています。一つひとつの花に命があるように、色の違いをていねいに描いています。まわりの緑もやわらかに調整されて、花に寄せるやさしい思いを感じさせます。



金賞のお知らせを見て、びっくりしてとても嬉しく、一番に家族に報告しました。工夫したところは、花の一つひとつが違う色になるように塗ったところなので、それが評価されて嬉しいです。

銀賞



「もりのみずうみ」

北進小 細川 桃花 さん

【講評】森の緑と水の青が響きあってさわやかな空気感を感じさせます。かすれた表現に森の奥行と空気を感じます。イメージにのびのびとした広がりがあり、見る人の想像にゆだねるようなゆとりのあるやさしい作品です。



「赤い花」

日の出小 久保 月花 さん

【講評】花壇で見つけた赤い花と緑の草などに視線を落とし、ていねいに描いています。背景の茶色の濃淡でそれぞれの距離感や空気感をうまく表現しています。中央にある木の幹が、まるで作者が草花を見守っているように感じます。

銅賞



「森にさく、きぼうの光」

北栄小
北村 明莉 さん



「みどりにかこまれたユリ」

北栄小
山本 永愛 さん



「校舎」

末広小
岩筋 夢華 さん



「校舎」

末広小
高田 まい さん



「花が咲いたとき」

緑小
佐藤 咲 さん



「咲きほこる花々」

緑小
出口 優希子 さん



「夏の湖」

支笏湖小
松澤 花歩 さん



「光る支笏湖」

支笏湖小
板谷 萌音 さん



「日の出のきれい」

日の出小
松村 陽琉 さん



「みどりの花」

日の出小
渡邊 柊子 さん



「学校と花だん」

高台小
城戸口 真帆 さん



「学校と花だん」

高台小
田中心陽 さん



「夜空の学校」

向陽台小
高田 唯乃愛 さん



「学校林と花壇」

泉沢小
大灘 柚希 さん



「学校林と花壇」

泉沢小
野尻 晴琉 さん



「モンシロチョウと
紫色のマーガレット」

日の出小
岡部 優羽 さん



「ききょう」

信濃小
高瀬 碧友 さん



「学校と花だん」

高台小
藤原 結 さん



第31回 花と緑の絵コンクール表彰式

令和5年12月2日

令和6年度も、皆さまからの多数の作品のご応募をお待ちしております！作品募集の詳細は広報ちとせ等でお知らせします。



花と緑の絵コンクール

令和6年度 都市緑化振興事業の紹介

No.	事業名	事業内容	開催時期
1	花と緑のフェスタ	花苗等の購入割引券、花苗プレゼント、花苗等安価販売など	5月
2	花いっぱいコンクール	町内会・学校・福祉施設・事業所などに花苗等を配布し、審査	4月に募集
3	花と緑の絵コンクール	小学生高学年を対象に、花・緑・水の写生画を募集し、審査	7月～9月に募集
4	花と緑の写真コンテスト	花や緑に親しむ様子や、庭や公園の草花の写真を募集し、審査	7月～9月に募集
5	緑の相談	庭木や家庭菜園の管理などについてお困りごと相談（予約制）	4月～10月毎月最終火曜日
6	園芸教室 ※	プリザーブドフラワーや寄せ植え作りなどの教室	11月・12月・令和7年1月
7	花と野菜の学校 ※	親子で楽しむ花や野菜の育て方、ハロウィンのランタン作りなど	6月・10月
8	ガーデニング講習会 ※	バラや宿根草の育て方、庭づくりなどの講習	令和7年3月
9	花と緑の講演会 ※	ガーデニングなどに関する講演	令和7年2月
10	緑化リーダー研修	地域における緑化リーダーを育成するための研修	4月に募集
11	花めぐり見学会（バスツアー）	市内のオープンガーデン、フラワーロードなどをバスに乗って見学	6月・7月
12	ちとせオープンガーデン	ガイドブックを片手に個人庭園を訪ね歩き、庭主と交流	6月～9月
13	青葉公園自然観察会 ※	青葉公園の樹木や草花などを観察し自然の大切さを学ぶ	6月
14	巨木をめぐるウォークラリー	青葉公園内の巨木を見つけ、樹木プレートキーワードを記入する	6月～9月
15	メモリアルツリープレゼント	人生の節目となる慶事を迎えた市民に、苗木や鉢植えをプレゼント	4月に募集
16	植樹会に係る苗木の提供	サクラの植栽を希望する町内会、学校などに苗木を無償提供	5月～6月に募集
17	樹木名板の提供	樹木名板取付を希望する町内会、学校などに名板を無償提供	5月～6月に募集
18	フラワーポット貸出事業	事業者や商店街を対象に、フラワーポットを無料貸出	5月～6月に募集
19	樹木再利用の情報提供	庭木や鉢植えを手放す方からの情報を提供	庭木:4月～10月、鉢物:通年で募集
20	広報誌「花水木」発行	都市緑化振興事業の情報を掲載した広報誌を発行	令和7年3月発行
21	ポスター・カレンダー発行	コンクールやコンテストのポスターやカレンダーを発行	8月～12月発行
22	各種コンクールの受賞作品展示会	各種コンクール、コンテストの受賞作品を展示	8月～12月

※は「ちとせを学ぶスタンプラリー」（主催：みんなで、ひと・まちづくり委員会 事務局：千歳市教育委員会教育部生涯学習課生涯学習推進係）の連携講座です。上記の都市緑化振興事業について、内容の変更、延期または中止をすることがあります。

「水と緑のふれあい基金」のお知らせ

緑化リーダー研修

水と緑のふれあい基金は、皆さまからのご寄付を積み立て、運用益を活用し、「植樹会」「フラワーポット貸出」「緑化リーダー研修」「カレンダー発行」等の事業を実施しています。皆さまからのご寄付をお待ちしています。

【令和5年度にご寄付いただいた皆さま】

- 自治労千歳市職員労働組合 様
- 陸上自衛隊東千歳駐屯地 様
- 千歳市環境整備事業協同組合 様
- 航空自衛隊千歳基地 様

その他匿名でご寄付いただきました。ありがとうございます。

令和5年度から内容を充実させるため、座学及び見学を主としていた研修にフィールドワーク研修を加え、実際に花壇を植栽する体験型6回連続講座としました。

16名の参加者は、札幌市百合が原公園緑化ボランティアの方々との情報交換や、千歳市の緑の環境や新しい植栽技術であるナチュラルスティックガーデンについて学びました。令和6年5月には、財団前花壇にナチュラルスティックガーデンを植栽します。

新年度も、“花や緑に興味があり緑化ボランティアに参加してみたい方”、“すでに緑化振興に係るボランティアに参加している方”を対象に、年間6回の連続講座すべてに参加可能な市民の皆さまを募集します。

詳細は、広報ちとせや財団ホームページにてご案内いたします。



札幌市 百合が原公園にて



グループワークの様子



グループワークの様子

